

まなびフェスタ2012

■お問い合わせ 講座企画担当 TEL. 043-207-5820

今年も家族連れで楽しめる「まなびフェスタ2012」を開催!アトリウムガーデンでのコンサート、ホールでの影絵公演の他、上映会や市民団体による各種の体験教室や、展示、発表などが催されます。



- 1日目 12月8日(土)**
 ●五十田安希の語り ●アトリウムコンサート
 ●劇団かかし座の手影絵公演
 ●美術館、科学館、加曾利貝塚博物館、郷土博物館による体験教室 他
- 2日目 12月9日(日)**
 ●まなびフェスタ発表会 ●各種体験教室
 ●のり・乾物の即売会
 ●メディアエッグ上映会「銀座カンカン娘」他
- 詳細情報** 事前申込が必要なイベント…市政だより11月1日号でご案内予定
 当日参加可能なイベント…市政だより11月15日号でご案内予定
 11月より生涯学習センターHPや、まなびフェスタパンフレットでご案内します。

劇団かかし座「まなびフェスタ2012特別公演」 「Hand Shadows ANIMARE ～手影絵の世界～」

海外フェスティバルで絶賛を浴びた、ダイナミックかつ繊細なステージ! 生命を吹き込まれた影たちが躍り広がる「手影絵」が主役の究極のパフォーマンス! 劇団かかし座の「まなびフェスタ特別公演」ご期待ください。

■日程/ 12/8 (土) ①13:30~14:30
 ②16:00~17:00

■会場/ 2階ホール
 ■定員/ 280人 (多数の場合抽選)

まなびフェスタ2012 五十田安希が語る 「シェイクスピアと劇中のヒロインたち」

豊かな表現力と、美しい響きの日本語で世界を魅了する我が国ひとり芝居の先駆者、五十田安希による語りと、映像、朗読によるシェイクスピアの世界をお楽しみください。

■日程/ 12/8 (土) 11:00~12:00
 ■会場/ 生涯学習センター地下1階メディアエッグ
 ■定員/ 80人 (多数の場合抽選)

■対象/ 市民(「劇団かかし座」は小学生以上) ■費用/ 無料 ■応募期間/ 11/14 (水) 必着 ■応募方法/ 往復はがき (1通2人まで全員の氏名明記)

ボランティアフェア2012

11/23(金・祝)~12/6(木)

ボランティアフェア2012では、ちば生涯学習ボランティアセンターに登録している方々が自分たちのボランティア活動をパネル展示で紹介するほか、小学生から大人までが楽しく学べる無料体験コーナーを随時開催しています。ぜひ一度ご参加ください。

- 週末は楽しい体験コーナー開催!**
- | | | | |
|-------------|---|--|--|
| 11/23 (金・祝) | サッカーフリーキック・模擬実験ゲーム
13:00 ~ 15:30
無料 子ども可 当日随時受付 | 12/1 (土) | アートフラワー deブローチ制作体験
13:00 ~ 14:00 ~ 15:00 ~
各回先着5人 300 ~ 500円 子ども可
申込先 043-272-0729 (鳥居さん) |
| 11/24 (土) | あなただけの円空仏を彫ってみませんか!
13:00 ~ 15:30
無料 先着20人 当日随時受付 | 12/2 (日) | 「篆刻(てんこく)をはじめよう」
14:00 ~ 16:00
先着10人 300円 当日受付(13:30~) |
| 11/25 (日) | マクラメ編のブローチづくり
9:30 ~ 12:00
先着25人 300円 子ども可
申込先 043-261-6843 (小倉さん) | 会場は生涯学習センター 3F工芸研修室。子ども可の記載のないものは成人のみ。センター1F広場でチラシを配布中!
■お問い合わせ 学習支援担当 TEL.043-207-5815 | |

千葉市生涯学習情報誌 平成24年11月発行

ちばまなびの森 Vol.5

●編集・発行
 千葉市生涯学習センター(指定管理者:千葉市教育振興財団グループ) <http://www.chiba-gakushu.jp/>
 〒260-0045 千葉市中央区弁天 3-7-7 Tel. 043-207-5811 (代) Fax. 043-207-1001
 千葉市教育委員会 生涯学習部 生涯学習振興課
 〒260-8730 千葉市中央区問屋町 1-35 千葉ポートサイドタワー 11F Tel. 043-245-5957 Fax. 043-245-5992

(以下は広告欄です。「ちばまなびの森」の掲載内容とは、関係ありません。)

子どもたちと一緒に笑顔になれる 春から学研の先生はじめてみませんか? 広告

「なぜ?」を子どもが自ら考え、理解していく。自分で考えてわかるから、勉強が楽しくなる。子どもたちが自力で答えを出していくためには、先生のあたたかいご指導が必要です。この機会に、新しいキャリアを築いてみませんか? 30~50代の方が活躍中です!

自分の空いている時間を使って楽しくお仕事をしましょう!

仕事 ▶ 幼児・小学生を対象とした、学研のオリジナル教材を使った、算数・国語の学習指導です。研修などのサポート体制が整っていますので、安心してはじめられます。

資格 ▶ 25歳~50歳くらいまでの方で大卒程度の学力のある方。

その他 ▶ 学習日、時間(週2日、または週4日など)は、ご自由に設定出来ます。

応募 ▶ 下記へご連絡の上、お気軽に説明会にご参加下さい。(日程が合わない方は個別に説明致します。)

11・12月の説明会日程 千葉事務局 11月6日(火)・21日(水)・26日(月)・29日(木) 12月12日(水)・20日(木)
 生涯学習センター 11月19日(月) ※時間はいずれも10時~12時(要予約)

無料体験学習 受付中!! 学研教室 千葉事務局 千葉市中央区弁天 1-2-12 沼澤ビル 5F **0120-114-154** (祝・休日を除く 月~金 9:00~17:00) <http://www.114154.com> 学研教室 検索

千葉市生涯学習情報誌

ご自由にお持ちください

ちばまなびの森

vol.5
平成24年11月発行

特集: 千葉市のこと、もっと知りたい!

- 2~3 千葉市ものしり検定~ちばのことなら何でも知りたいな~
- 4~5 ちばカレッジ~水環境と生活~
- 6 青少年の日フェスタ
- 7 科学フェスタ
- 8 イベント告知





“ちば”のことなら 何でも知りたい!



楽しみながら郷土“ちば”を学ぼう 第4回『千葉市ものしり検定』開催!



2012年の夏休みがスタートしたばかりの8月1日(水)~4日(土)、
「NPO法人 郷土ちばに学び親しむ会」(篠 翰 理事長)の企画・運営による、小学3年~中学生を対象とした『千葉市ものしり検定』が、千葉市生涯学習センターで開催されました。

「NPO法人 郷土ちばに学び親しむ会」は、主に千葉市の小・中学校で社会科を教えていた約30名の教員OBが、子どもたちや市民のため、「社会科の教育に従事してきた者ならではの活動をしたい」との思いから立ち上げた会で、さらに約90名の現役教員が、その活動をサポートしています。

検定は4日間に渡って行われ、1日目は開講式と学習会。学習会は本や映像、そして手作りの資料などを活用し、千葉市のことを学びます。2日目も引き続き学習会を行い、3日目に検定試験と採点。最終日となる4日目は、採点結果のふりかえりと認定証の授与、そして閉講式というスケジュールとなっています。

千葉市を知るために講座や勉強会でなく、あえて“検

定”というスタイルにしたのは、「楽しく学べて、子どもたちの知りたいという意欲を高めるため」とのこと。

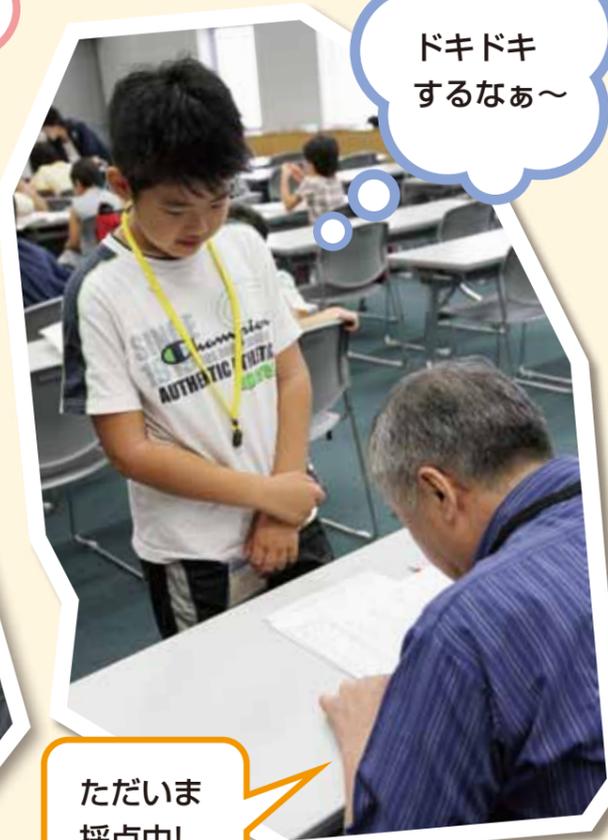
そこで、実際に出題された問題を見てみると、『緑区にある「小食土」は何とよみますか?』『千葉市民会館の場所は、昔、何があったところでしょうか?』など、いかにも子ども達の好奇心を刺激しそうなものばかり。ちなみに答えは1問目が「やさしど」、2問目が「旧国鉄千葉駅」です。

これらの問題は、教員OBが中心となって作成。「知りたいという意欲がわき、面白いと思える問題づくりを心がけました」とのこと。その言葉を裏付けるように、検定後に子ども達からは「楽しかった!」「また挑戦したい!」という声が多く聞かれました。



なるほど
なるほど…。

先生なんでも
知ってるな…。



ドキドキ
するなあ～

ただいま
採点中!



なお検定の結果、50点までが初級、51~80点が中級、そして81点以上なら上級の認定証が授与されます。会としては今後、子ども達だけでなく幅広い年齢層の方々に対し、活動の輪を広げていきたいそうです。

最後に子ども達に対し、「夏休み、この検定に参加すれば、そのまま立派な自由研究となります。ぜひ、参加してください」とのこと。確かにOB及び現役教員、約120名が主催しているこの検定なら、胸を張って提出できる、立派な自由研究になったでしょう。

楽しみながら、郷土・千葉市の魅力を学べるこの検定に、次回、あなたも参加してみませんか?



ちばを知ると、まちを歩くのが
もっともっと楽しくなりますよ〜

NPO法人 郷土ちばに学び親しむ会のみなさん

ちばの水環境を学ぼう!

現地研修

長柄ダムと高滝ダム



「ちばカレッジ」は千葉市、およびその周辺を足元から見つめ直し、より深く「ちば」を知るために学ぶ講座で、2012年度は「ちばに生きる～街・食・祭からのヒント～」と、「ちばに学ぶ～水環境と生活～」の2講座を開催しています。

今回は、「ちばに学ぶ～水環境と生活～」の一環として開催された、現地研修の様子をご報告します。

●利根川を水源とする長柄ダム

梅雨の晴れ間となった6月27日(水)。約30名の参加者が午前8時45分に、千葉市生涯学習センターの正面玄関前に集合。大型バスに乗り込み、最初の目的地である長柄ダムへと出発。

約1時間後、長柄ダムの傍らに建つ、独立行政法人・水資源機構千葉用水総合管理所房総導水路管理所に到着しました。

一行はすぐに所内へと案内され、同管理所の川野伸次さんと小幡能伸さんから、千葉県の河川、水資源関連の施設、そして長柄ダムの概要や特徴などについて、約1時間の講習を受けました。その間、参加者からの様々な質問にも、丁寧に対応していただきました。

講習終了後は川野さんと小幡さんの案内で、長柄ダムの周囲を散策。通常なら立ち入ることのできない、取水塔の内部などにも案内された参加者からは、驚きや感嘆の声が聞かれました。

「利根川から水を引いているとは知らなかった」「県内で水道料金が違う理由が理解できた」など、参加者は様々な感想を胸に抱き、長柄ダムの見学を終えました。

●内部も見せてくれた高滝ダム

正午前、再び大型バスに乗り込み、一行は次の目的地となる高滝ダムへ。到着後は自由時間となり、それぞれに昼食や散策を楽しみました。

午後1時に再集合し、高滝ダム管理事務所内へと案内



〈長柄ダム〉

高さ52メートル、長さ250メートル、貯水量1,000万立方メートル(千葉マリンスタジアム約9杯分)という、台形状に盛り土を行って建設されるアースダムとしては、日本で4番目の高さを誇ります。利根川から長い導水路を通して貯めた水を、九十九里沿岸地域や南房総地域へ生活用水として、また、房総臨海地区へ工業用水を供給しています。

〈高滝ダム〉

高さ24.5メートル、長さ379メートル、貯水量1,430万立方メートルの重力式コンクリートダム。洪水による被害の軽減、水量調節による川の保全、市原市周辺への水道用水の供給という、3つの大きな目的で建設された多目的ダム。周辺は観光スポットとして整備され、特に桜の咲く季節は、多くの観光客で賑わいを見せます。

され、同事務所の松井清治さん、長谷川昌俊さんから、高滝ダムの概要や、建設された目的などについて講習を受けました。

講習終了後、お二人の案内で高滝ダムの周囲を散策。ここでも、堤体部を案内された後、さらに、高滝ダムの右岸にある監査廊から螺旋階段を降りて、高滝ダム堤体内へと潜入。初めて見るダム内部に、参加者は驚きと喜びを素直に口にしていました。

左岸の監査廊から地上へ戻った後、希望者を募り次は高滝ダムの上部へ。側面にある螺旋階段を上り、洪水吐ゲート機械室も案内されるというサプライズに、参加者はビデオやカメラを片手に大満足の様子でした。

「千葉県一の貯水面積とは思わなかった」「洪水被害を防ぐのが大きな目的と聞いて驚いた」。高滝ダム見学後は、このような感想が多く聞かれました。

●水資源の重要さを再認識した9月

「ダムの現地研修は今回がはじめてです。(東日本大震災の)社会的な背景も影響し、現在、水への関心が高まっていることから、本講座を企画しました。」と語る、講座企画担当者。

その言葉を裏付けるように、殆どの参加者から「参加して良かった」という感想と共に、「次回があればぜひ」との声が聞かれました。

現地研修を終えた約3ヵ月後の9月には、8月の猛暑と少雨の影響により、利根川水系の上流にあるダムで渇水の恐れが出たため、千葉県を含む1都5県で10%の取水制限が実施されました。今回の現地研修に参加した方々は、改めて水資源の大切さや、ダムの重要さを実感したことでしょう。

平成24年度

「青少年の日フェスタ」

が開催されました



9月15日（土）、千葉市生涯学習センターと千葉市子ども交流館で「青少年の日フェスタ」が開かれました。会場では、参加無料の工作や体験教室をはじめ、市内の小・中・高校生や大学生のサークル等による合唱やダンスの発表会などが催され、家族連れをはじめ延べ5,700人の参加者がさまざまなイベントを楽しみました。



お弁当作り教室



くるくるレインボー作り

毎年9月の第3土曜日は、「青少年の日」です。この日に催される「青少年の日フェスタ」は、青少年と家庭・学校・地域・行政がつながりをもつことで青少年のコミュニケーション力を高め、居場所づくりを推進することを目的としています。

今回のフェスタは、千葉市と青少年の健全育成に係る団体等で構成する実行委員会により主催され、ダンスや合唱の発表会のほか、消防音楽隊によるコンサートや各種の工作教室、講座、お弁当づくり教室など、たくさんの楽しい催し物や教室が開かれました。

千葉市では「青少年の日」のほか、毎月第3土曜日とその翌日曜日を「家庭・地域の日」、「青少年の日」が

ら1週間を「『青少年の日』つながりウィーク」として制定しています。また、「『青少年の日』つながりウィーク」の1週間を中心とした9月下旬から11月にかけて、各中学校区青少年育成委員会の主催による研修や地域の環境浄化活動、ボランティア活動など、青少年の健全育成に関するさまざまなイベントを実施して、家族との絆とは何か、地域とのつながりとは何か、真の青少年育成とは何か等について考える機会づくりを行っています。

■主催：千葉市、「青少年の日」及び「家庭・地域の日」事業実行委員会
■共催：千葉市生涯学習センター



みて、ふれて、つくって感動!!

科学のおもしろさを実感した2日間

千葉市科学フェスタ2012

秋の気配がかすかに漂い始めた10月6日（土）、7日（日）の2日間、中央区のきぼ一で、千葉市と千葉市教育委員会、そして千葉市科学館の主催による「千葉市科学フェスタ2012」が開催されました。

市では10月の1ヵ月間を科学フェスタ月間とし、市内各所でさまざまな科学イベントを開催。「千葉市科学フェスタ2012」は、そのメインイベントとして実施されました。

会場となったきぼ一は、1階のきぼ一広場から、7階～10階の科学館、さらに15階のビジネス支援センターなど全8フロアを使用。それぞれを「くらしとふしぎの街」「かがくの館」「ひととかりの広場」など、街や広場に見たて、大学・高校・企業・NPO法人など幅広い団体が科学の魅力を発信するさまざまなブースや、専門家による講演、そして実験・工作教室などが行われました。

手作りCDプレーヤーの作成、メッセージ入りのアロマキャンドル作り、そして自動で動く車イスに試乗するなど、この日ならではの貴重な

体験に、子ども達はもちろん、大人の方々も歓声を挙げて楽しんでいました。

また、ブースを回りヒントを見つけ、マス塗りつぶすと絵が浮かんでくるパズルなども用意され、こちらも子ども達に大人気でした。

なお、期間中は科学館の常設展示とプラネタリウムが無料開放され、どちらも大勢の来場者で賑わいを見せていました。

日常生活の中で科学・技術に親しめる科学の祭典、「千葉市科学フェスタ」は来年以降も開催を予定しています。ぜひ、足をお運びください。

